

第54回全国大学保健管理研究集会報告

2016.10.16 山口大学保健管理センター 森福 織江

開催日：平成28年10月5日（水）～6日（木）
場所：大阪国際会議場

第54回全国大学保健管理研究集会に参加させていただきました。会の様子等報告します！

<http://web.apollon.nta.co.jp/juha2016/>（全国集会の詳細はこちらから）

プログラム：日程一日目

【保健看護職代表者会議】

開会式の前に保健看護職代表者会議に出席しました。全国7ブロックの地方部会保健看護部会の代表者が集まり、会についての今後の在り方の検討、業務に関する情報交換（主な話題はストレスチェック制度）を行いました。

出席者：山口大学 森福・梅本
広島大学 杉原



【教育講演Ⅰ】長寿時代のエンドオブライフ・ケア

東京大学大学院人文社会系研究科 特任准教授の会田薫子先生によるご講演でした。人生の最終段階までより良く生き、終わることは多くの人にとって重要な課題であり、この課題の大きな側面の一つである最終段階における嚥下困難への対応の問題について日本老年医学会が発表した2つのガイドラインを中心に実際の対応事例を交えながらお話し下さいました。従来の救命・延命からではなく本人の価値観や人生観を大切に人工栄養の意思決定が重要であること、本人が亡くなられた後に医療者へ「本当にあれでよかったのでしょうか？」と思いを悩むことが多いそうですが、チームとしてご本人、医療者、家族がご本人の最善を巡って一緒に考え悩むことが決定の倫理的な妥当性を担保することになり、「あれでよかったのですよ」と医療者が伝えることで、ご家族が安心されるというお話がとても印象に残りました。

（参考）日本老年医学会

「高齢者の終末期の医療およびケア」に関する日本老年医学会の「立場表明」2012

<https://www.jpn-geriat-soc.or.jp/proposal/tachiba.html>

「高齢者ケアの意思決定プロセスに関するガイドライン～人工的水分・栄養補給の導入を中心として～」

https://www.jpn-geriat-soc.or.jp/proposal/pdf/jgs_ahn_gl_2012.pdf



【教育講演Ⅱ】学生を支えるネットワークづくりー学生相談と連携・共同の実際ー
東京工業大学保健管理センター 齋藤憲司先生によるご講演でした。

学生相談の鍵となる「連携・協働」「ネットワークづくり」について先生の日頃の実践活動を統合的な理念を提示しながらお話いただきました。

相談の3本柱と称して「ガイダンス」「カウンセリング」「メンタルヘルス相談（精神科医）」の支援で年間数千件の相談面接を展開されています。さらに「電話相談デスク（退職教員）」「ピアサポート（在学生）」等の創出で細やかなセーフティーネットを形成され、従来の問題解決型の支援の拡充と同時に「スクールパートナー」「サイエンスカフェ」等の企画が学生たちに一步を踏み出す機会を自然な形で提供されていることなどのお話がありました。

日々の相談活動を大切にされ、保健管理センターが学生支援の最前線に立ち、学生相談の重要性について教職員との懇談会や教職員向けのサポートガイドブックの作成等を通じてメッセージを発信されている姿が印象的でした。



【ランチョンセミナー】

昼食の時間はランチョンセミナー1に参加しました。岡山大学保健管理センター センター長 小倉俊郎先生による「敷地内全面禁煙 実施までの過程とその後」立命館大学保健センター 所長 伊東宏先生による「立命館大学における禁煙の取り組み」についてご講演がありました。

岡山大学では平成26年4月1日から敷地内全面禁煙を実施されており、その経過や問題点などご紹介いただきました。また、立命館大学では平成25年～敷地内禁煙を実施し4年目を迎えられ経過と現状のご紹介がありました。重要文化財を擁する寺院と隣接している大学ならではのご苦労がありながらも地元寺院と連携し、当初掲げた「禁煙指針」からぶれることなく取り組みをすすめてられました。

両大学の取り組みは、敷地内禁煙を検討している参加大学にとってとても参考になる内容でした。



すわん♪ すわん♪
しばらく耳から離れ
ませんでした^_^;



ランチョンセミナー開始前に、すわん君の歌がかわいい子供バージョンで流れていました。すわん君は日本循環器学会 禁煙推進委員会の禁煙啓発キャラクターです。

関連の動画や着ぐるみレンタルなどは

<http://www.j-circ.or.jp/kinen/suwankun/index.htm>
のページから！





今回発表された梅本保健師と一緒に



【ポスター発表】

ポスター発表会場では14:00から17:00まで各セッションで発表が行われ、興味がある演題を中心に閲覧させていただきました。いつもはポスター会場を渡り歩き、足がパンパンになるのですが^_^;、今回は同じフロアですべてのポスターが閲覧可能でした！



【イブニングセミナー】17:00~



感染症対策の変貌～輸出国から輸入国へ
大阪大学医学部附属病院感染制御部 教授 朝野和典先生のご講演でした。
欧米の先進諸国に比較するとまだまだ多い結核については、日本は中まん延国であるが、持続的に患者の発症は減少している。一方国内の外国人結核患者は増加傾向にある。(若い世代の外国人結核が増えている) タイやインド、フィリピンなど比較的留学生の多い国の結核届出率と日本で同程度の結核届出率を示した年代を見ると40年程のずれがある。疫学的な考察を加えて考えると現状が理解しやすくなるというお話がありました。また、検査結果がBCG接種などに左右されない抗原特異的インターフェロン-γ遊離検査(IGRA)のお話もありました。ポスター発表でもこの検査を予防対策として学生に実施された結果についてのご発表がありました。
国際交流が推進される中で留学生の入学時の健康診断の必要性は高く、大学として留学生の感染症対策は重要だが、費用等解決すべき問題が多い。感染症の輸出国から輸出国となった現在においては国として統一した方針と制度の整備が求められるというお話がありました。

懇親会は国際会議場のお隣のリーガロイヤルホテルでした。参加はしませんでしたが大阪駅に向かうシャトルバスを利用するためホテルへ。ハロウィンのかわいい装飾やsweetsショップに目が釘付けでした。夜ご飯はお好み焼きや串揚げなど大阪グルメを楽しみました！





プログラム：日程二日目

朝一番で展示のブースへ
受付に大阪大学マスコットキャラクターの
「わに博士」が来ていました！



大阪大学は2017年4月から
キャンパス全面禁煙になると
いうことで「阪大禁煙学基礎
B」という試験問題を模した
大阪らしい楽しいパンフレット
を作成されていました。



<http://www.osaka-u.ac.jp/jp/facilities/anzen/smoking/smoking.html>

日本循環器学会のAED・心臓マッサージを
楽しく学べるサスペンションやあっぱく
んライトが紹介されていました。本
学でもボックス型のあっぱくんを使用
していますがライトはシート状で
使いやすそうでした。



【特別講演】インターロイキン6発見30周年：夢は叶えるためにある
国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 理事長 平野俊夫先生のご講演でした。

免疫機能における情報伝達において重要な働きをするインターロイキン6を発見された
先生の44年間の研究の足跡をたどり、その中で「夢は叶えるためにある」という素敵な
言葉を提示して下さいました。研究内容のお話もありましたが、先生の研究に対する心
構えや、拠り所とされていた言葉の数々が心に残りました。

- 『言誌四録（げんししろく）』の「一燈を提げて暗夜を行くを憂うことなかれ ただ一燈を頼め」
- 恩師の山村雄一先生の「夢見て行い 考えて祈る」
- 夢に向かっていくプロセスが大事であり、夢は人生を豊かにする
- 人生は道しるべがない「目の前の山を登りきる」
などです。

お話を聞き終わった後とても元気な気持ちになる素敵なお講演でした！





【ランチョンセミナー3・シンポジウム1】 12:00~

いずれもストレスチェックに関するお話でした。シンポジウムでは～ストレスチェック制度実施の現状と課題～それぞれの立場から～というテーマで3名のシンポジスからお話がありました。

ストレスチェック制度に関するマニュアル作成委員会委員である医療法人渡辺クリニックの渡辺 洋一郎先生からはストレスチェックの趣旨と概要のお話があり、流れについて頭の中を整理できました。企業の立場からはトヨタ自動車人事部の統括精神科医の奥山真司先生から企業での取り組みについてお話がありました。一人一人がいきいきと働き人生を過ごすことができる組織を目指すために①本当に頼りになる相談窓口（行きやすい、話しやすい、わかってもらえる、会社のことをよく知っている）、②本当に役立つメンタルヘルス教育（わかりやすい、健康な人にも役立つ、身に付く）、③よい医療との橋渡しを実践されていました。大学の立場からは大阪大学保健センター准教授の足立 浩祥先生からストレスチェックの運用についてWEBを利用した回答方法など実際の実施についてのご紹介がありました。

【シンポジウム2】シンポジウム1と同時進行のため拝聴できませんでしたが、テーマは「障害者差別解消法～対応と現状の課題」でした。

【教育講演3】認知行動療法を活用したところのスキルアップトレーニング

14:00~ 大野研究所 所長 大野 裕先生のご講演でした。

認知行動療法はストレスを感じたときに認知に働きかけて心の負担を軽くし、問題解決を手助けする目的で開発された精神療法（心理療法）ですが、精神疾患の治療法としてだけでなく職域、地域、教育現場など多くの領域でのストレス対処策として活用することができるをご紹介いただきました。私たちが意識しないで行っているストレス対処のよいところを誰でも活用できるようにまとめたのが認知行動療法だから活用できるということでした。禁煙支援の際などいろいろな場面で活用することができますね。

(参考)

「ところのスキルアップ・トレーニング（こことレ）」

<http://www.cbt.jp.net/introduction/>

【教育講演4】スポーツにけがはつきものか？ - 事故防止の可能性を探る -

名古屋大学大学院教育発達学研究科 准教授 内田良先生
興味のある内容だったのですが、帰りの時間の関係で残念ながら拝聴できませんでした。



当番校 大阪大学のスタッフの皆様、準備から会の運営まで本当にお疲れ様でした。

来年度の研究集会は琉球大学が当番校で沖縄県沖縄コンベンションセンターにて11月29日、30日に開催されます！

それでは 長い間お付き合い頂きありがとうございました。
誤字・脱字がありましたらお許しくださいね^_^。

